

一般国道 7号 能代市下野^{しもの}

対策時期 : 14.12
事務所名 : 能代河川国道事務所

自転車通学が大変

自転車で通学する学生が多く、快適に通行する歩道幅員が足りない。

整備前



整備後

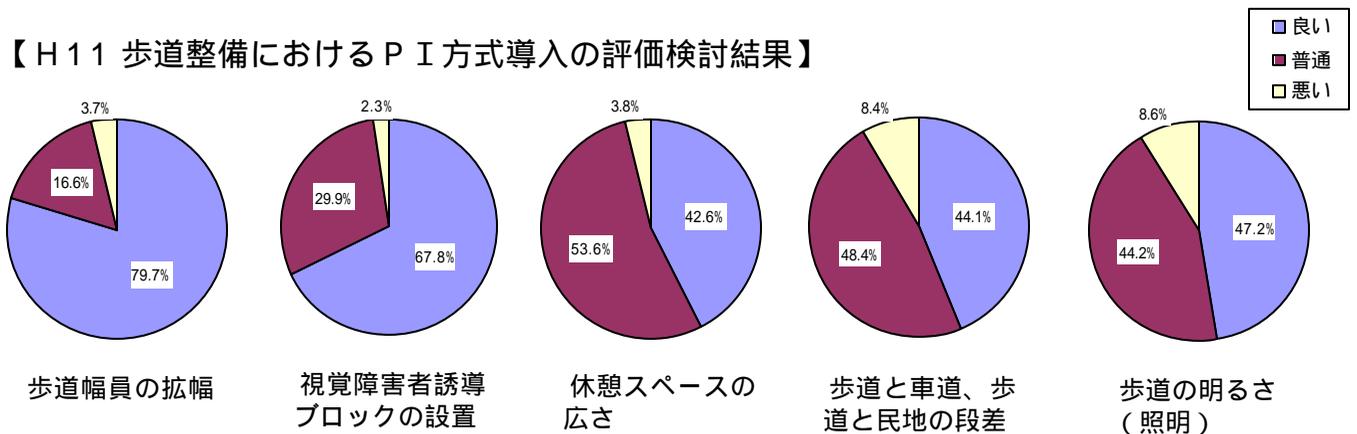


- ・ 歩道の拡幅、段差の解消、休憩スペースの設置。

歩きやすくなった」と高い評価

- ・ 安心して通学できる歩道空間を確保。
- ・ 黒松などの植栽の手入れをお手伝いしていただくなど、地域の皆さんに親しまれる歩道が完成。

【H11 歩道整備におけるP I方式導入の評価検討結果】



一般国道 4号 仙台市長町

対策時期 : H12.3

事務所名 : 仙台河川国道事務所

歩道が狭く段差があり歩きづらい

国道 4 号仙台市長町地区の歩道約 1 km について、歩行に関する障害を出来る限り緩和したバリアフリーの歩道整備を実施。

整備前



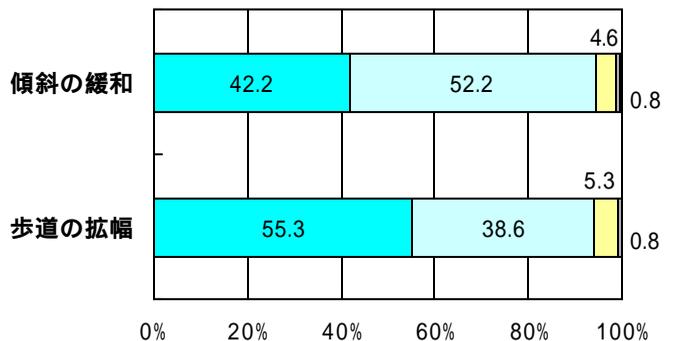
整備後



利用者の 9割が高い評価

- 整備後にアンケート調査を行った結果、約 9 割の人が良くなったと回答。

歩道整備の満足度



【H12アンケート調査結果】

非常に良くなった どちらかといえば良くなった
 わからない どちらかといえば悪くなった
 非常に悪くなった

対策時期 : H13.10

事務所名 : 仙台河川国道事務所

歩道が狭くて歩きにくい

幅が狭いところや交差点部に段差があるなど歩きにくい。

整備前



整備後

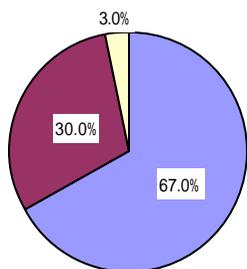


- ・歩道の拡幅、段差や勾配の解消を実施。
- ・視覚障害者誘導ブロックを設置。

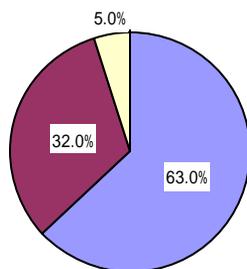
歩きやすくなった」と高い評価

- ・沿道のみなさんは「歩きやすくなった」と評価。

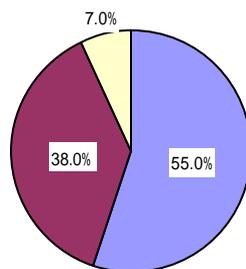
【H13 中の島地区歩道整備満足度アンケート調査】



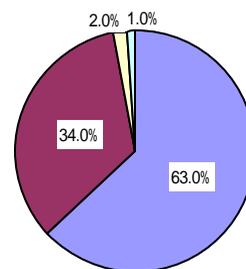
歩道幅員の拡幅



段差・勾配の解消



視覚障害者誘導
ブロックの設置



照明灯の増設

- 非常に良かった
- どちらかといえば良かった
- 変わらない
- どちらかといえば悪くなった
- 非常に悪くなった

一般国道13号 米沢市花沢

対策時期：H14.3
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は歩道の幅が狭く、歩行者・自転車の快適な通行を阻害

- ・ 国道13号米沢市花沢地区は人家・工場・商店が連担しており、歩行者・自転車の通行が多い地域である。
- ・ しかし、歩道の幅は1.8mで、歩行者・自転車が快適に通行できない状況であった。

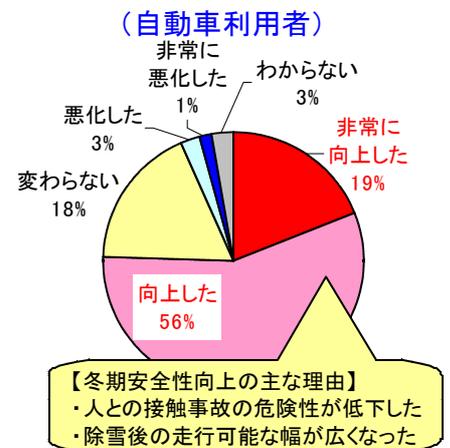
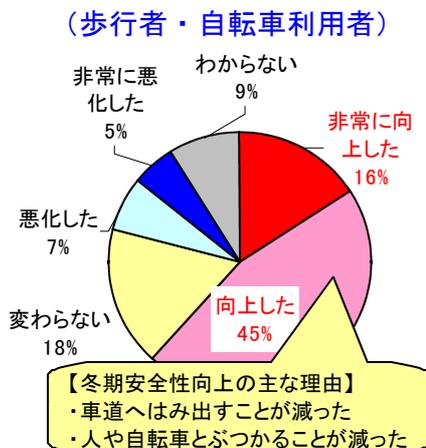
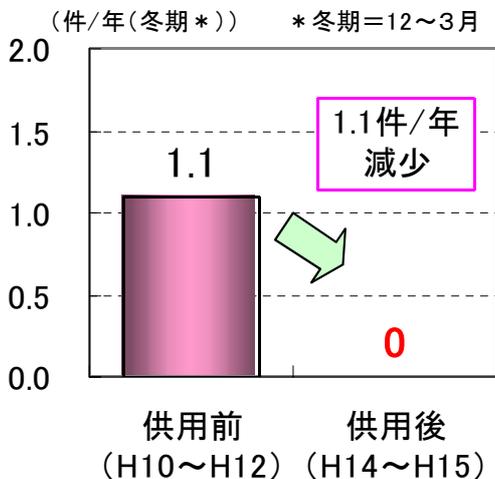


<幅の広い歩道の整備>
・ 歩道の拡幅を図り、安全かつ快適な歩行空間を確保。

安心して歩道を通行することが可能に

- ・ 歩道の拡幅整備により、歩行者の車道通行等により発生したと考えられる冬期の事故件数は、整備前の1.1件/年から**0件/年**に減少した。
- ・ アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の**約6割**の方が「**冬期の安全性が向上した**」と評価しており、その理由として「**車道へはみ出すことが減った**」などの回答が得られている。
- ・ 自動車利用者は、**約8割**の方が「**冬期の安全性が向上した**」と評価しており、その理由として「**人との接触事故の危険性が低下した**」などの回答が得られている。

<花沢地区の冬期事故件数> <花沢歩道の冬期安全性の向上> <花沢歩道の冬期安全性の向上>



<利用者の声>

景観も良くなり子供や老人の自転車、歩行も安全で大変安心出来るようになった。(60代)

一般国道13号 新庄市金沢地内

対策時期：H14.3
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は歩道の幅が狭く、歩行者・自転車の快適な通行を阻害

- ・国道13号新庄市金沢地区は、大型量販店やレストランなど商業施設が沿線に立地しており、その背後が住宅地となっている。交通量も多く、自転車・歩行者と沿道への出入り車両が錯綜している。
- ・しかし、歩道の幅は1.5mで、歩行者・自転車が快適に通行できない状況であった。

<整備前>



<整備後>



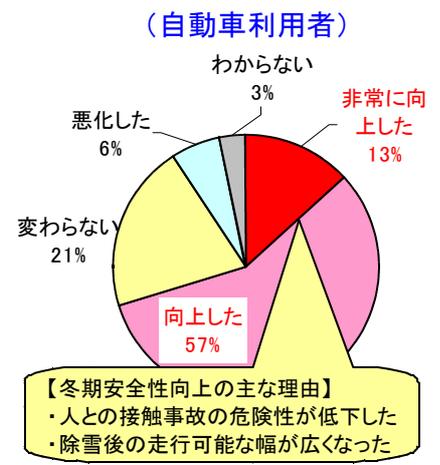
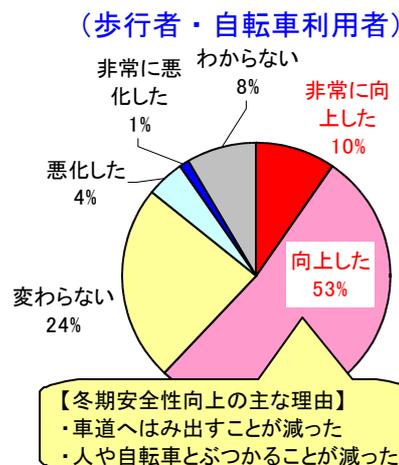
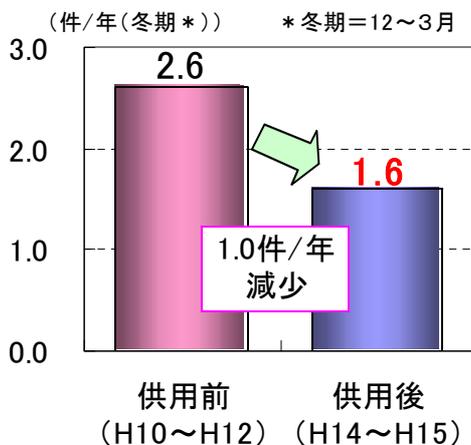
<幅の広い歩道の整備>

- ・歩道の拡幅を図り、安全かつ快適な歩行空間を確保。

安心して歩道を通行することが可能に

- ・歩道の拡幅整備により、歩行者の車道通行等により発生したと考えられる冬期の事故件数は、整備前の2.6件/年から1.6件/年へと年平均1件減少した。
- ・アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の約6割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「車道へはみ出すことが減った」などの回答が得られている。
- ・自動車利用者は、約7割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「人との接触事故の危険性が低下した」などの回答が得られている。

<金沢地区の冬期事故件数> <金沢歩道の冬期安全性の向上> <金沢歩道の冬期安全性の向上>



資料：死傷事故データ (H10~H15)

<利用者の声>

この地区の歩道は、学生やお年寄りが主として歩いているので、前はちょっと危険かなと思ってましたが、今は、きちんと整備されていて車道も広いし、走りやすく、車道を歩く人もいなくなり大変良かったと思ってます。(30代・女性)

資料：H16道路利用者CSアンケート (国土交通省山形河川国道事務所)

一般国道13号 米沢市中田

対策時期：H16. 3
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は歩道の幅が狭く、歩行者・自転車の快適な通行を阻害

- ・ 国道13号米沢市中田地区は住宅地域内に位置しており、通学路として児童に利用されている。
- ・ しかし、歩道の幅は1.5mで、歩行者・自転車が安全かつ快適に通行できない状況であった。

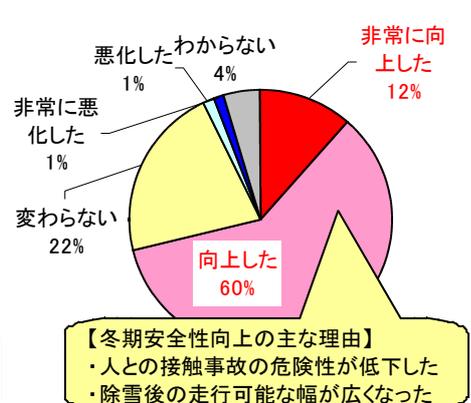
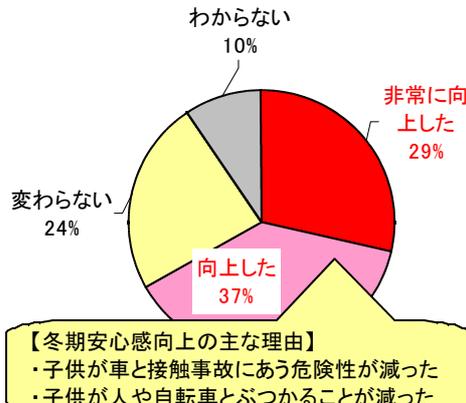
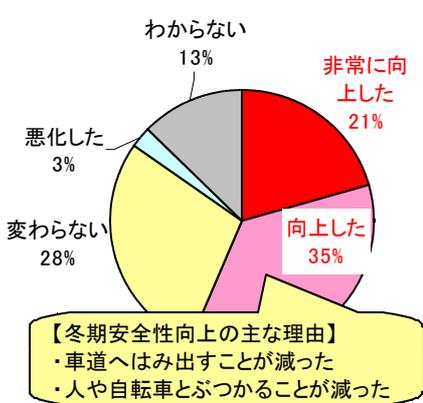


<幅の広い歩道の整備>
・ 歩道の拡幅を図り、安全かつ快適な歩行空間を確保。

安心して歩道を通行することが可能に

- ・ アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の**約6割**の方が「**冬期の安全性が向上した**」と評価しており、その理由として「**車道へはみ出すことが減った**」などの回答が得られている。
- ・ 小中学生の保護者は、**約7割**の方が「**子供の冬期登下校時の安心感が向上した**」と評価しており、その理由として「**子供が車と接触事故にあう危険性が減った**」などの回答が得られている。
- ・ 自動車利用者は、**約7割**の方が「**冬期の安全性が向上した**」と評価しており、その理由として「**人との接触事故の危険性が低下した**」などの回答が得られている。

<中田歩道の冬期安全性の向上> (歩行者・自転車利用者)
<中田歩道の冬期安心感の向上> (児童保護者)
<中田歩道の冬期安全性の向上> (自動車利用者)



<利用者の声>

歩道ができたことにより道路が広く見通しが良くなり、通学の子供たちも事故から守れますし、休日ウォーキング(4月～11月まで)をやっている者にとっても、安全で安心して歩くことができます。(50代・女性)

一般国道13号 南陽市大橋

対策時期：H16. 3
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は歩道の幅が狭く、歩行者・自転車の快適な通行を阻害

- ・国道13号南陽市大橋地区は、通学路として児童に利用されている。
- ・しかし、歩道の幅は1.5mで、歩行者・自転車が安全かつ快適に通行できない状況であった。

<整備前>



<整備後>



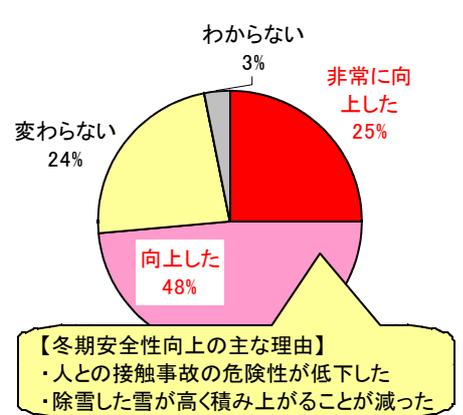
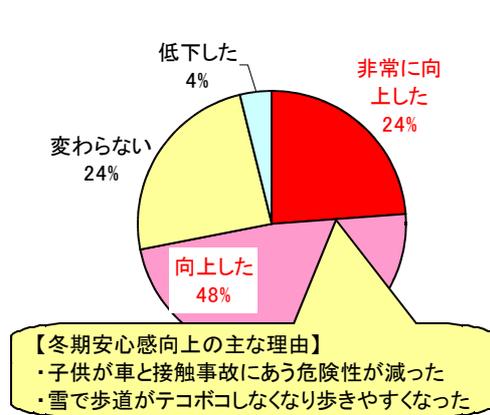
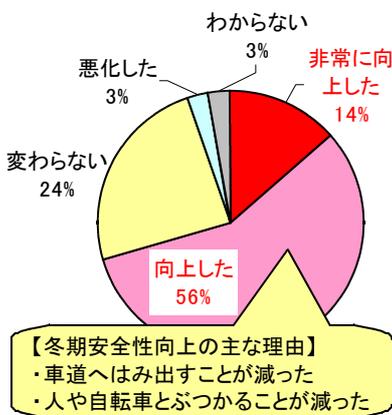
<幅の広い歩道の整備>

- ・歩道の拡幅を図り、安全かつ快適な歩行空間を確保。

安心して歩道を通行することが可能に

- ・アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の約7割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「車道へはみ出すことが減った」などの回答が得られている。
- ・小中学生の保護者は、約7割の方が「子供の冬期登下校時の安心感が向上した」と評価しており、その理由として「子供が車と接触事故にあう危険性が減った」などの回答が得られている。
- ・自動車利用者は、約7割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「人との接触事故の危険性が低下した」などの回答が得られている。

<大橋歩道の冬期安全性の向上> (歩行者・自転車利用者) <大橋歩道の冬期安心感の向上> (児童保護者) <大橋歩道の冬期安全性の向上> (自動車利用者)



<利用者の声>

歩道整備する前は、冬期間歩行者は歩くことができない危険な道路だった。両側が除雪による雪の山で、一歩間違えば死亡事故になるようなことばかりで、非常に危険だった。歩道ができたので危険が解消し、安心して通れるようになった。(60代・男性)

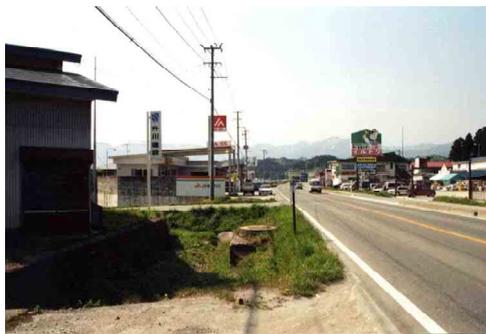
一般国道47号 最上郡最上町大字向町

対策時期：H15.8
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は車と人の安全な通行を阻害

- ・国道13号最上町向町交差点は、JR向町駅へアクセスする交差点で、周辺地域には事業所や医療・福祉施設などが立地しており、通学路として児童にも利用されている。
- ・最上町では、向町駅周辺整備構想を策定し、駅周辺の道路整備を計画しており県道の改良を予定していた。
- ・しかし、交差点に右折レーンが設置されておらず、また片側に歩道が無く、車も人も安全に通行できない状況であった。

<整備前>



<整備後>



<交差点の改良、幅の広い歩道の整備>

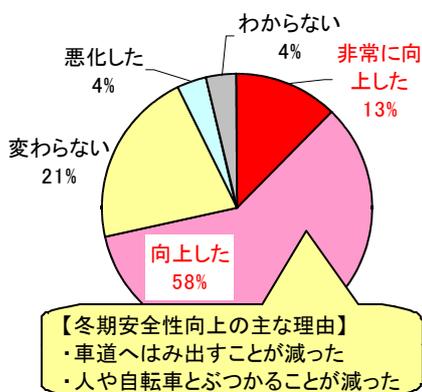
- ・交差点に右折レーンを設置するとともに、無歩道区間に幅の広い歩道を整備。

安心して歩道を通行することが可能に

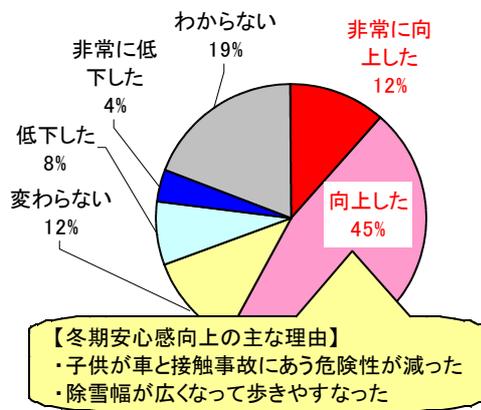
- ・アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の約7割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「車道へはみ出すことが減った」などの回答が得られている。
- ・小中学生の保護者は、約6割の方が「子供の冬期登下校時の安心感が向上した」と評価しており、その理由として「子供が車と接触事故にあう危険性が減った」などの回答が得られている。
- ・自動車利用者は、約7割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「人との接触事故の危険性が低下した」などの回答が得られている。

<向町歩道の冬期安全性の向上> <向町歩道の冬期安心感の向上> <向町歩道の冬期安全性の向上>

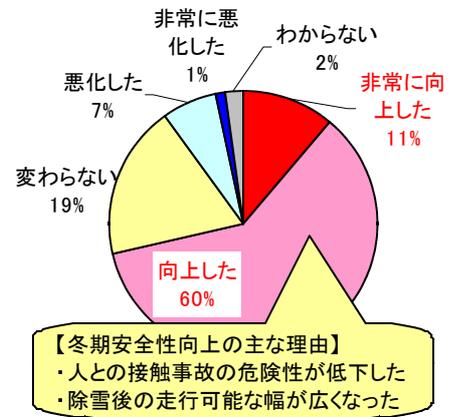
(歩行者・自転車利用者)



(児童保護者)



(自動車利用者)



<利用者の声>

今までは自動車と人、自転車が一緒だったが、歩道ができて大変良いと思います。(40代・男性)

一般国道48号 東根市西原

対策時期：H16. 3
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は歩道の幅が狭く、歩行者・自転車の快適な通行を阻害

- ・国道48号東根市西原地区は住宅地域内に位置しており、通学路として児童に利用されている。
- ・しかし、歩道の幅は1mで、歩行者・自転車が快適に通行できない状況であった。



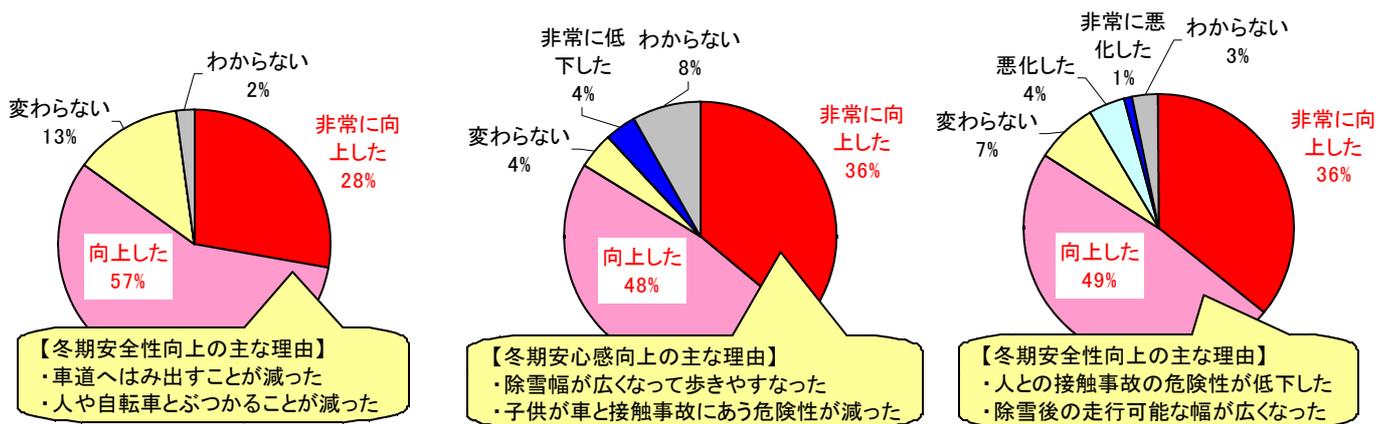
<幅の広い歩道の整備>

・歩道の拡幅を図り、安全かつ快適な歩行空間を確保。

安心して歩道を通行することが可能に

- ・アンケート調査の結果、歩行者・自転車利用者の約9割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「車道へはみ出すことが減った」などの回答が得られている。
- ・小中学生の保護者は、約8割の方が「子供の冬期登下校時の安心感が向上した」と評価しており、その理由として「除雪幅が広がって歩きやすくなった」などの回答が得られている。
- ・自動車利用者は、約9割の方が「冬期の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「人との接触事故の危険性が低下した」などの回答が得られている。

<西原歩道の冬期安全性の向上> (歩行者・自転車利用者) <西原歩道の冬期安心感の向上> (児童保護者) <西原歩道の冬期安全性の向上> (自動車利用者)



<利用者の声>

除雪した雪が高くなることもなく見通しが良くなった。広がった事は、通学する子供がかつて危険であったが、見通しが良いので整然と歩ける。(70代以上・男性)